

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)11月19日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H24018

発 信 者 名:三溝



高島市オリーブの特産化に向け、先進地視察研修会を開催！

高島市のオリーブを、関係機関一体となって推進し、市の特産品とするため、10月30日に高島市オリーブ産地化推進協議会構成員を対象とした先進地視察研修を開催しました。視察先を、当市のオリーブ栽培と状況が近い「一般社団法人淡路島オリーブ協会」とし、体験を盛り込んだ視察内容とすることで、より一層オリーブを身近に捉えられるように工夫しました。

今年度は、高島市のオリーブを特産品とするべく、「産地戦略」の検討を始めています。そのなかで、オリーブの果実はそのまま食べることが出来ないため、加工が必要であること、また観光資源として大きな可能性を秘めていることから、関係機関が各々の役割を担いながら、連携して活動していくことが重要です。

今回は、高島市とほぼ面積が近い兵庫県淡路島で、熱心に収穫体験や加工品の開発、料理教室を実施されている「一般社団法人淡路島オリーブ協会」を視察先とし研修を開催したところ、生産者や関係機関など13名が参加されました。

当日は、既存のオリーブの大産地と差別化していく重要性や、集荷の方法などを具体的に学ぶとともに、実際にオリーブの加工品を使用したパエリア料理体験や、オリーブの収穫体験をしました。帰りのバス車内では、参加者一人一人に、今回の研修で感じたことや次に活かしていきたいことなどを発言していただき、生産者と関係機関が本音で話す良い機会となりました。

今回の研修を踏まえて、今後も引き続き、高島市オリーブ産地化推進協議会では産地戦略の検討を行い、特産化に向けて活動していきます。



左:パエリア
料理体験
右:収穫体験

